

# 簡便エアーマット

**東日本大震災の経験。「一番つらいのは、『睡眠』が取れない事です。とにかく、寒くて、痛くて、寝てられないのです。」**

エアーマットは空気層なので接地面の熱を遮断し、体温の熱をマット内に保つので暖かいです。又、空気層のマットなので適度に柔らかくて寝心地がよいのです。活力の源である「睡眠」を取る事さえできれば、なんとか生き延びる事が出来ます。

## 1. ”簡便エアーマット”の特徴

- ①自分で膨らませる事ができる。器具がなくても大丈夫です。
- ②マットの硬さを自由にできる。柔らかくも固くも自由にできる。
- ③マットの上に寝ると”暖かい”。空気膜なので自分の体温が反映。
- ④繰り返し使用できる。
- ⑤長期間の保存が出来、保管場所が小さく大量に保管できる。

## 2. 導入実績

- ①自治体は全国規模で実績有り。
- ②民間企業の導入は広範囲に渡ります。東京都の指針・勧告もあり、都内の企業は備蓄開始しています。東日本大震災時の大量の帰宅困難者が発生した経験が大いに影響しています。
- ③東日本大震災での使用実績(約4200個)
  - ・宮城県登米市:登米町公民館避難所200個
  - ・福島県南相馬市:原町第2中学校避難所200個
  - ・宮城県南三陸町:志津川中学校避難所100個
  - ・他45箇所

平成7年の阪神淡路大震災後に発売され、多くの企業、自治体に採用されている商品です。今回の東日本大震災での帰宅困難者が大量に発生しましたが、備蓄していたところから大きな感謝と再発注がございました。新聞・雑誌の記事で紹介されています。自信を持ってお勧め致します。

エコロヴィーバルーン合同会社  
代表:西 直樹

# 簡便エアーマット

暖かいマット（バルーン構造/空気膜構造体）

「一番つらいのは、『睡眠』が取れない事です。  
とにかく、寒くて、痛くて、寝てられないのです。」

（東日本大震災の被災者の声）

エアーマットは空気層なので接地面の熱を遮断し、体温の熱をマット内に保つので暖かいのです。又、空気層のマットなので適度に柔らかくて寝心地がよいのです。今回の東日本大震災で避難所生活を余儀なくされた人々のつらく長い体験から出た一番必要とされるものは、暖かくて柔らかい“敷布団”でした。

- ・公的機関において、300kgの耐荷重24時間テストに合格のお墨付き
- ・平成7年阪神淡路大震災後に開発・製造・販売実績を持つ
- ・企業の帰宅困難者の備蓄用として多数の大手企業に採用実績
- ・東日本大震災の被災地・避難所で採用された。その数、4, 200個に及ぶ
- ・多くの自治体で備蓄用としての採用実績を持つ



枕機能つき



こんなにコンパクト!



ハンドポンプを使用するとさらに簡単!

販売元

エコロヴィーバルーン合同会社

〒283-0054 千葉県東金市下谷314-3  
TEL:0475-71-2131 / FAX:0475-71-2132  
E-mail : info@ecolovy.com

＜仕様＞

- 素材 : ポリエチレンとナイロンの3層
  - サイズ : 長さ約2m×幅約60cm×厚み約5cm
  - 耐荷重 : マット全体荷重300kg合格  
300kgの体重まで可
  - 保存期間 : 紫外線の当たらない状態で15年
- ＜パッケージサイズ＞
- 縦15cm×横11cm×厚み2.5cm : 重さ244g
- ＜ご使用方法＞
- ストローで空気を吹き込むだけで簡単にできあがります。